



令和元年度 金婚夫婦及び 一人金婚表彰式

Golden Wedding Anniversary



町と熊本日日新聞社の共催による令和元年度金婚夫婦表彰式と町主催の一人金婚表彰式が、保健福祉センターで9月4日に行われました。

今年度表彰を受けたのは、昭和44年に結婚し、50周年を迎えた78組のご夫婦と一人金婚の7人。金婚夫婦を代表して知名石友行・篤子さんあつこ、ご夫婦(畑中)に町から、堀川紘一ひろかず、カク子さんご夫婦(東無田)に熊本日日新聞社から、一人金婚を代表して永村由紀子さんゆきこ(辻の城団地)に町から、それぞれ表彰状と記念品が贈られました。

西村町長は、「震災から3年4カ月が過ぎ、徐々に復旧から復興へと歩みを進めておりますが、ここまでの歩みは全国からのご支援はもとより、住民の皆さまお一人一人のご協力、ご支援によるものと改めて感謝申し上げます。

昨年12月に、第6次益城町総合計

画を策定し、まちの将来像を「住みたいまち、住み続けたいまち、次世代に継承したいまち」とし、震災前の活力を取り戻し、さらににぎわい溢れる町に向け、各種事業に全力で取り組んでいるところです。皆さま方には、これまで培ってこられた貴重な経験を後世に伝え、また、後輩にご助言いただきながら、これからの益城町のため、未熟な私たちを見守っていただければ幸いに存じます。今日の良き日、これまでの50年に思いを巡らされ、次の10年、20年を健康で末永く、いきいきとした生活を続けていくということを目標に、次のステップへと夢をつないでいかれますことを心からお祈り申し上げます」と祝辞を述べました。

これに対し、庄島久信ひさのぶ・妙子たえこさんご夫婦(広崎4町内)が、「先の熊本地震では思ってもいなかった大災害に見舞われましたが、現在は復旧から復興へ向かって歩みはじめています。今までの幾多の災難を乗り越えて、今日の日を迎えられた素は、一つには夫婦お互いの思いやりと力を合わせる心であつたらうと思いません。

夫婦二人で一人前といわれる時期に差しかかってきた私たちですが、この受賞を励みに、心身の健康にさらに注意し、夫婦で協力し合い、こ